

## 脳死片肺移植後の予後解析に関する研究

### 1. 研究の対象

2000年1月～2023年12月に当院で脳死片肺移植が施行された患者。

### 2. 研究目的・方法

日本は諸外国と比べ、ドナー数が少ない影響もあり肺移植の中でも片肺移植の割合が高いことが知られています。日本の肺移植後の成績は他国よりも良好ですが、一般的に片肺移植は両肺移植に比べて肺移植後の予後が悪いということも指摘されています。また、片肺移植の場合は自己肺(移植を行わなかった側の、元々患者さんに備わっている肺)に何らかの疾患が生じ得ることが知られています。今回の研究では、当院で脳死片肺移植を受けた患者さんの既往歴や肺移植後の予後や、自己肺にどのような疾患が生じたかといったことをカルテの情報から抽出し、解析する予定としています。

研究機関は研究機関の長の実施許可日～2026年3月31日、利用又は提供を開始する予定日は2024年3月を予定しています。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

今回の研究では、カルテ内から患者さんの情報、具体的には年歴・性別といった基本情報や肺移植の原因となった疾患とその治療歴、既往歴、術式、肺移植後どのくらいの期間生存できているか、自己肺に生じた疾患の種類・有無等を調査し研究に用います。

### 4. 外部への試料・情報の提供

今回カルテ内から得られた患者さん個人の情報を外部へ提供することはありません。研究全体の結果を学術集会や学術雑誌で発表することはございますが、その際にも患者さん一人ひとりの情報が、個人が特定される形で公表されることは絶対にありません。

### 5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学医学部附属附属病院呼吸器外科 新谷 康

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2(L5)

国立大学大阪大学医学系研究科呼吸器外科学講座

助教 狩野孝

電話：06-6879-3152

研究責任者： 同 呼吸器外科学講座 教授 新谷康